



I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	施釉をしよう		
	単元(題材)の目標	皿の仕上がりをイメージしながら、施釉の手順工程に従い作業ができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の声掛けで何をすべきか判断し、自ら釉薬の色を選ぶことができる。 ・教師と一緒にタイミングを合わせて施釉できる。 ・調子が悪いときには、作業学習に参加したくないと訴え、教室から動けなくなることがある。 ・情報端末の利用場面は少ないが、画像や音で判断できる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラアプリ ・絵カードタイマー 	 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラアプリと絵カードタイマーを使用し、次の活動への切り替えを自らできるようになる。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・作業学習に気持ちが向かず、教室でかたまってしまったとき。 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・次の活動の写真を撮り、タイマーを設定した。 ・「タイマーが鳴ったら始めようね」と声を掛けた。 ○生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・否定的な発言をしていたが、声掛けに返事をし、タイマーを見つめた。タイマーが鳴ると泣き始め、「泣くの終わり」の声掛けで折り合いが付き活動を始めた。 ・今後は情報端末の使用を習慣化し、活動開始時間を早められるようにする。 			